

平成 23 年 12 月 5 日

電通、社員発の人権スローガンを基に「人権ポスター」を制作

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井直）は、毎年、社内人権啓発活動の一環として人権に関するさまざまなテーマについてのメッセージを「人権スローガン」として募集し、人権週間（12月4日～10日）に合わせてポスターを制作しています。今年は新たに4枚の「人権ポスター」を制作し、12月5日より電通グループ各社の社屋内に掲出いたします。

電通では、社員が人権について正しい知識を持ち、理解を深め、仕事の中でその知見を活かしていくこと、そして、広告コミュニケーションを人権の観点からも豊かなものにしていくことが、コミュニケーションビジネスに携わる会社の果たすべき重要な社会的責任と考え、1988年より社内人権啓発活動の一環として、毎年、電通グループ内の社員とその家族から「人権スローガン」を募集しています。

この「人権スローガン」の入選作品を基に、社員のクリエイターが「人権ポスター」を制作し、電通グループ各社の社屋内に掲出しグループ内の意識啓発を図ると共に、自治体等への貸し出しの要請に応え、全国の人権イベント等に協力をしています。

第24回となる今年は、「性差別をなくすために」「部落差別をなくすために」「子どもの人権のために」などをテーマに実施し、社員からの応募数は約8,200点、家族からの応募数は約1,200点となりました。その中から入選作品を28点選出、さらにそのうちの4点を選んで今回の人権ポスターが制作されました。この4点のポスターは、東京本社、中部支社、関西支社、電通九州のクリエイターが、各々の視点で制作しました。

過去の人権ポスターについてはウェブサイト（<http://www.dentsu.co.jp/csr/human/poster.html>）にてご参照いただけます。

<第24回電通人権スローガン>

- 「日本は、ここから伸びて行く。だってまだ、女性を温存してるから。」（性差別）
- 「『わたしはいいんだけど、周りがね。』というあなたが差別の温床です。」（部落差別）
- 「子どもが国の宝なら、誰が大切にしてもいい。」（子どもの人権）
- 「わたしがいやなこと あなたがいやなこと 大切なのは気づくこと。」（よりよい職場づくり）

